

荷主関係団体等 各位

近畿運輸局
各府県(大阪・京都・奈良・滋賀・和歌山・兵庫)労働局
近畿農政局
近畿経済産業局
公正取引委員会事務総局近畿中国四国事務所

大雪等異常気象時の運送依頼における配慮について（協力依頼）

平素より、トラック事業における適正取引及び働き方改革への取組に対しまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

異常気象が多発している状況を踏まえ、国土交通省では「異常気象時における措置の目安」を別表のとおり定めております。

貨物運送にあたっては、荷主からの運送時間や運行経路等の指示に基づき運送する必要があり、大雪などの異常気象による突発的な道路状況の変化が生じた場合であっても、運行経路の変更や運送の中止を行う場合には、荷主の承諾を得る必要があるなど、荷主のご理解とご協力が必要不可欠です。

こうした状況の中、昨今の大雪時において、高速道路や主要国道で大規模な車両の立ち往生が発生し、大型トラックが滞留の原因となったことが確認されております。

つきましては、物流機能の維持とトラック事業者や運転者の生命・身体を守るため、今般の趣旨についてご理解いただき、以下の事項について、傘下会員への周知にご協力を賜りたくお願い申し上げます。

なお、「異常気象時における運送依頼」は、国土交通省トラック・物流荷主特別対策室員（トラック・物流Gメン）による是正指導（働きかけ、要請、勧告・社名公表）の対象となる「違反原因行為」に該当する場合がありますので、こちらについても併せて周知いただければ幸いです。

【依頼事項】

- 大雪などの異常気象による突発的な事象により、運行経路の変更や運送の中止の必要が生じ、その原因となった事象がやむを得ないと認められる場合には、運行経路の変更等を認めるよう、ご協力をお願いします。
- 大雪などの異常気象により、運送に支障を来すことが予め予想される場合には、物流拠点に留置する在庫の積み増しや、予定されていた運送時間の前倒し、運送可能域内での物資の融通を行うことにより、輸送の安全の確保及び持続的な物流機能の維持にご協力をお願いします。

【別表】 異常気象時における措置の目安

気象状況	雨の強さ等	気象庁が示す車両への影響	輸送の目安*
降雨時	20～30mm/h	ワイパーを速くしても見づらい	輸送の安全を確保するための措置を講じる必要
	30～50mm/h	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる（ハイドロプレーニング現象）	輸送を中止することも検討すべき
	50mm/h以上	車の運転は危険	輸送することは適切ではない
暴風時	10～15m/s	道路の吹き流しの角度が水平になり、高速運転中では横風に流される感覚を受ける	輸送の安全を確保するための措置を講じる必要
	15～20m/s	高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる	
	20～30m/s	通常で速度で運転するのが困難になる	輸送を中止することも検討すべき
	30m/s以上	走行中のトラックが横転する	輸送することは適切ではない
降雪時	大雪注意報が発表されているときは必要な措置を講じるべき		
視界不良（濃霧・風雪等）時	視界が概ね20m以下であるときは輸送を中止することも検討すべき		
警報発表時	輸送の安全を確保するための措置を講じた上、輸送の可否を判断すべき		

※ 輸送を中止しないことを理由に直ちに行政処分を行うものではないが、国土交通省が実施する監査において、輸送の安全を確保するための措置を適切に講じずに輸送したことが確認された場合には、「貨物自動車運送事業者に対する行政処分等の基準について（平成21年9月29日付け国自安第73号、国自貨第77号、国自整第67号）」に基づき行政処分を行う。